

世帯数	13,916世帯	14世帯増
人口		
男	24,294人	13人減
女	24,816人	12人増
計	49,110人	1人減

1. しごとに誇りを持ち、栄えるまちをつくります。
2. まちを守り、住みよいまちをつくります。
3. からだをきたえ、明るいまちをつくります。
4. 教養をたかめ、文化のまちをつくります。
5. 助けあひ、楽しいまちをつくります。

発行：茨城県石岡市役所 〒315 石岡市大字石岡3165番地の2  
昭和57年11月15日発行（毎月1回15日発行）

### 市の機構改革

## 市民要求への適切な対応と 新しい時代に向けての 体制づくり

市では、昭和四十八年に敷かれた機構を、十月一日より、市民の要求に適切に対応できる、新しい機構を充足させ仕事を進めております。

新機構は、管理部門内の税務部門を分離し、管理体制の充実に期し、一階窓口には、税務、市民活動、住民窓口部門を包括した市民部を設けました。

また、従来二つの部門に分離されていた保健医療関係と公衆衛生関係を統合し、それに社会福祉関係を併せ厚生部としました。

建設部は、建設部門の一元化を考え、従来の部門に都市計画課と開発部門を設け、さらに市の公園、緑地の管理を一括して扱う部署を設けました。

このため、従来より一部減の一室・五部・一課となりました。今月は、この改革に伴わない、庁舎内の配置と仕事の内容が別図のとおり変わりましたので、その主な内容をご紹介します。

秘書課は、市長の秘書業務や表彰等のほか、市民・行政・法律相談と投書・苦情・陳情請願の処理を行い、新たに市報や市のごあなないの編集発行を行う広報係が加わりました。

企画室は、市の基本計画や実施計画、主要事業の基本計画や実施計画の調整・統制および各種統計業務を行う企画課。市の予算全体を担当する財政課です。管理課は、他市町村の総務に当たる部署で、市議会に関することや条例規則・告示等のほか公印の管理・駐在員に関すること、文書の集中管理と住居表示を行う庶務課。

職員全体を担当する人事課。市有財産等の業務全体と建設工

### 関連業務を一元化し 住民サービスの 向上をはかる

厚生部は、国民健康保険に関することと、国民年金業務を行う保険年金課。墓地関係や簡易水道、犬の登録等環境保全業務と公害対策を行う環境保全課。清掃（ゴミ）業務と、し尿業務を行う清掃課。高齢化社会に対応するため、新しく社会福祉課を設け、老人クラブを始め、老人福祉に関することや、民生・児童委員関係、戦傷病者、戦没者遺族等援護事務、軍人恩給事務、保育所入所や児童手当事務を行います。

福祉事務所は、生活保護や身

事等請負契約の審査、工事の検査、物品や資材の購入、駐車場の管理等を行う管財課です。

市民部は、戸籍等の諸届・証明、埋火葬許可証、印鑑届・証明、住民登録等を行う市民課。

市民税・固定資産税や軽自動車税の業務を担当する税務課。納税への奨励業務、市税や国保税未納金・滞納金の徴収等を行う収納課。環境の美化や消費生活・生活改善、交通安全指導と交通対策を行う市民活動課です。

厚生部は、国民健康保険に関することと、国民年金業務を行う保険年金課。墓地関係や簡易水道、犬の登録等環境保全業務と公害対策を行う環境保全課。清掃（ゴミ）業務と、し尿業務を行う清掃課。高齢化社会に対応するため、新しく社会福祉課を設け、老人クラブを始め、老人福祉に関することや、民生・児童委員関係、戦傷病者、戦没者遺族等援護事務、軍人恩給事務、保育所入所や児童手当事務を行います。

福祉事務所は、生活保護や身

体障害者福祉、精神薄弱者福祉老人ホーム入退所等に関する業務を行います。

また、保健予防課は、従来どおりメディカルセンター内に置き、乳幼児健康検診・指導、予防接種、家庭保健指導等や老人保健法業務の健康手帳交付、機能訓練および献血業務などを行います。

経済部は、農政全体を担当する農政課。商工の振興、雇用対策、観光関係を行う商工観光課です。

建設部は、建築工事の設計・施行、市営住宅の管理等を行う建築課。土木工事の設計・施行道路橋りょうの管理、道路の補修業務を行う土木課。下水道事業全体を行う下水道課。

新しく都市計画の企画調査・開発業務、公園の維持管理等を行う都市計画課。区画整理業務を行う区画整理課。駅東区画整理事業を担当する業務の三部門が加わりました。

このように、業務の一元化により、一層の住民サービスがはかられることと思っております。

建設部は、建築工事の設計・施行、市営住宅の管理等を行う建築課。土木工事の設計・施行道路橋りょうの管理、道路の補修業務を行う土木課。下水道事業全体を行う下水道課。

新しく都市計画の企画調査・開発業務、公園の維持管理等を行う都市計画課。区画整理業務を行う区画整理課。駅東区画整理事業を担当する業務の三部門が加わりました。

このように、業務の一元化により、一層の住民サービスがはかられることと思っております。



58年4月オープンを目指し、造成工事が始まった半ノ木霊園(仮称)

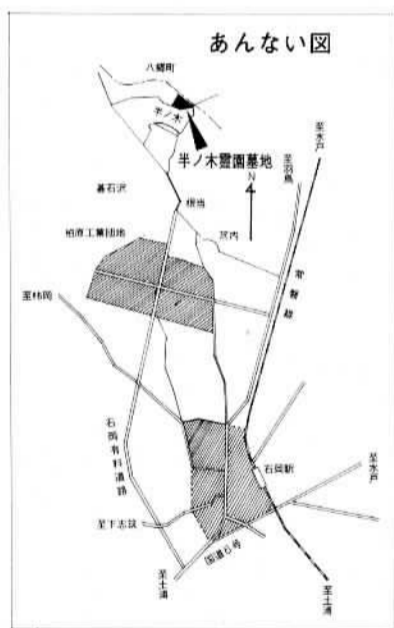
昭和四十七年度に、市営電神山霊園(一、二〇〇区画)を開園しましたが、現在、需要に感じられない状態になり、このたび、半ノ木地内に大規模霊園の造成が始まり、昭和五十八年三月末には工事が完了し、四月から公募を開始する予定です。

この霊園は、二、一三四平方メートルの敷地に、約一、一五〇区画の墓地を設けます。一区画の大きさは、五平方メートル(間口二・m・奥行一・五m)で利用者が使いやすいようにするため境界は石などで囲まず、杭で区画します。

1,150区画

### 半ノ木霊園(仮称)の 造成工事始まる

58年4月から公募予定



霊園内は、幅員四メートルと三メートルの遊歩道を設け、管理棟や便所を造るほか、霊園を見おろす高台に、高さ二・四メートルの青銅製聖観音像を配した広場ができます。

四十五台収容できる駐車場や照明灯、案内板等も設置されます。

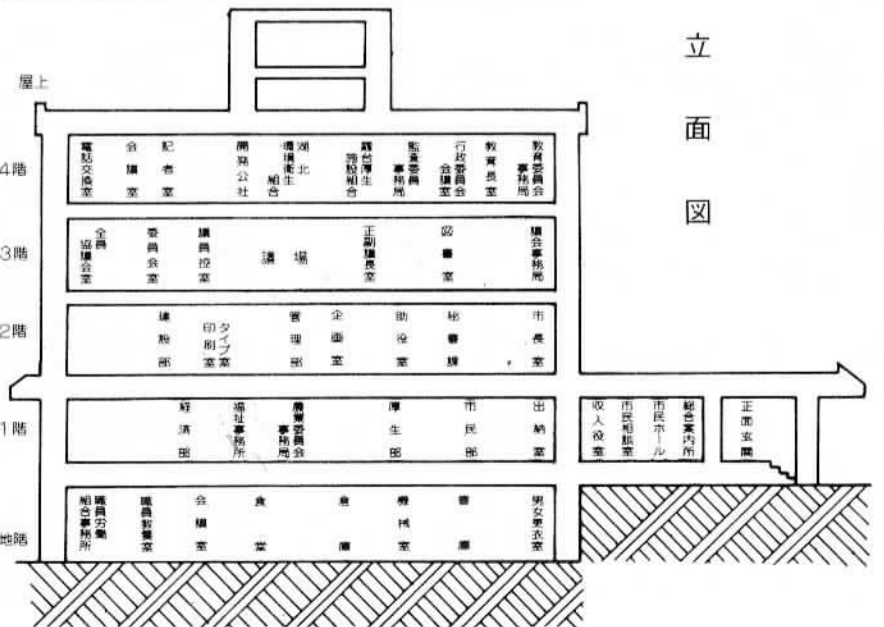
なお、霊園の使用料や申し込み受付等詳細については、決まり次第ご紹介いたします。

問い合わせは市役所環境保全課へ  
電話(3)一一一 内線三三六

### 一階平面図



### 立面図





# 市史の発刊 にあたって

先祖代々育まれてきた、この郷土の連綿とした歴史を理解し、そこで培われた風土を確かめ、それを何らかの形で現代に活かしていくために得難い資料の一つであろうと思います。

一人でも多くの市民の皆様がお手元に置かれ、郷土愛を高める一助となることを心から願うものです。

## 各家庭に

### この一冊を

は、後世に残る大事業である。襟を正して正確な史料を採求し、編集に努めている」と、市史収録のあとがきに記されているのを思い出し、ここまでまとめた編さん専門委員のご苦労に感謝し、発刊される日が待遠しい、それほど内容に富んだ市史で、私たちの生れ育った、石岡を認識し、理解を深めるのにふさわしいものと存じます。

議長 大山安一

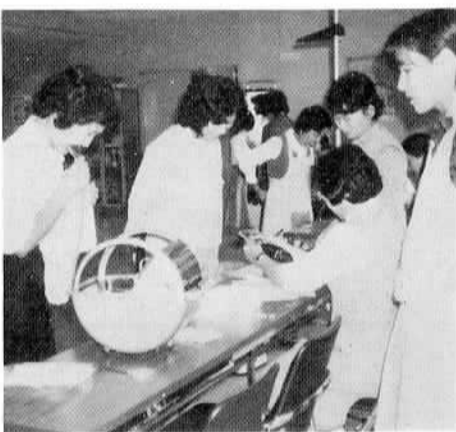


### ▲秋晴れのフェスティバル

10月17日(日) 82 石岡地区交通安全フェスティバルが、駅前通りの歩行者天国を会場に、盛大に開催されました。市内パレードの後、レンジャー部隊の救助演技、白バイパランス走行など様々な催物が交通安全の願いを込めて繰り広げられました。

### ▲にここ「産業祭」

今年で10回目の産業祭は、10月23日、24日の2日間、市民会館・市民広場を会場に13,000の市民でにぎわいました。市内の70社の展示品や米まつりの特設コーナーを見てまわる人たちが、無料配布の新米や風船を手にした子供たち、どの顔も楽しそうでした。



### ▲市民健康展に300人参加

さきほどメディカルセンターで第7回の健康展が行われ、高血圧や貧血等の検査と食事の展示、健康相談等5つのコーナーを設け、300人の参加者は、日ごろの健康管理の相談や指導を受けておりました。

# まちなび



### ▲育英資金にと500万円寄付

このほど、元市長の故大和田健三郎さんの二男、大和田達郎(40)さんより育英資金に役立ててほしい……と500万円が寄付されました。



▲交通安全にと20万円寄付  
市内の印刷業者海老沢満雄(49)さんは、さきほど母親が交通事故死にあい、このような悲しい事故をなくすよう、交通安全のために役立ててほしいと20万円を寄付しました。

## 団体での申し込み歓迎

### し込み歓迎

「あんない」にて日時・場所等のご連絡をされると同時にハガキでご通知いたします。

なお、代金は現品と引き替えにいただきます。

郵送を希望される方には、送料実費を添えた代金を受理後に郵送いたします。

## 申し込み方法

ハガキでお願いします。

① 購入申込書  
石岡市史 中巻Ⅰ 冊  
中巻Ⅱ 冊  
郵送の有無(一方に○をつけてください) 有・無  
右予約注文いたします。

昭和 年 月 日

住所  
氏名  
電話番号  
郵便番号  
申込み先及び問い合わせ先  
〒315石岡市大字石岡三二六五番地の二  
市教育委員会内市史編さん委員会事務局 電話(〇二九九二)三二二二 内線三二九  
市史(上巻)もまだ残部がありますので、ご希望の方は合わせてお申し込みください。

## 大砂地区 ばら賞を受賞

茨城県ばら賞は、地域の特性を生かした個性豊かな地域社会づくりを進めている団体等に対して、県知事より贈られるほう賞です。昭和五十一年より始められ、石岡市ではこれまで六団体と一名の個人がその榮譽に浴しています。

今回の大砂地区生活環境整備推進委員会(代表 岡野忠氏)

青年会、女子青年団をして結婚(嫁見・口固め、結納)結婚式(嫁の出発、三三九度、あとふき)  
里帰りし仲人札から年祝、葬儀(臨終から入棺、通夜)葬式(食事から陸道まで)  
葬式後の儀礼(初七日から新盆、両墓制)  
第二節 年中行事  
石岡地方で古くから行なわれている諸行事を正月から十二月までの月ごとに掲載  
第三節 歌謡  
石岡地方に関係ある作業唄、遊び唄、子守唄、遊芸人の唄から盆踊り唄、鉄道唄、歌その他を掲載。  
第四節 子どもの遊び  
懐かしい男の子の遊びと女の子の遊び。  
第五節 方言



県ばら賞受賞の大砂地区のみなさん

は、大砂地区の共同清掃、花だんの管理、三十六及ぶごみ焼却炉の設置など徹底した環境美化運動が認められ、ばら賞の受賞となりました。兼業や新しい住民の増える中で、集落全員が団結して生活環境の整備を続けて来たという点が高く評価されました。これらの活動は、新生活運動を母体に昭和三十一年から今日まで二十六年間の長い間実施されてきました。現在は、民謡・カラオケ・料理などの講座やソフトボール・ゲートボールなどのスポーツ大会も行われ、明るく楽しい集落活動が展開されています。石岡の模範地区の一つとも言えるでしょう。

## 市長室 アラカルト

山本 吉藏

週末になると天候が崩れる。あるいは台風の後波でぐずぐずお天気が続き、カラッとした秋晴れの日が少い年です。運動会シーズンなのに子ども達は勿論親達まで気を揉むお天気に、一喜一憂しながらお弁当作りをしていると思えます。市民の皆さままいかがお過しですか。

今回市役所の機構改革を致しました。市民の皆さま方に直接関係の多い住民課とか印かん証明、戸籍関係あるいは不動産の評価、税務関係は一括して市民部として窓口業務を担当します。建設部は都市開発関係と道路、下水道と建築関係を担当し、

福祉と保険関係は厚生部として一括して高齢化社会に対応する福祉業務に力を入れます。それに市民の皆さまの各年代層のご意向を十分に把握したいと思ひ、広報広聴係を秘書課に導入しました。市民の負託に応えるよう努力致すべく市職員の公務員としての奉仕意識の高揚にとめまします。

私も市長就任三年になろうとしています。昨夜のテレビで十五億光年の距離にある星を学者が発見したと報じてましたが十五億年の間、光がつつ走る距離、宇宙の果て、あるいは何千年かの歴史の中では正にうたたかの出来事かも知れませんが、今私達が考えている事、あるいは悩んでいる事をどんな風に解決して行くべきか。

私達がこよなく愛するふるさと石岡のために何が一番大切なのかお互いに摸索しましょう。

## 老人保健法が成立

昭和58年2月から実施します

来年二月一日から実施することになった「老人保健法」は、本格的な高齢化社会に向けての一貫した保健サービスをめざす制度です。この老人保健制度の主な内容は次のとおりです。

①現在、原則として無料となっている70歳以上(寝たきりの場合は65歳以上)の方々の医療費が一部負担となります。

②外来診療の場合は、一月四〇〇円を支払うことになり、入院の場合は、一月三〇〇円を支払い、二か月を超えて入院したときにはその後は支払わなくてもよいこととなります。

③医療費は、国・県・市町村で三割を負担し、七割を各保険者の拠出金で負担します。

70歳以上(寝たきりの場合は65歳以上)の人に交付される健康手帳は、健康診断の記録のみでなく医療の受給資格を証明するものでもあります。

④医療面だけでなく、健康管理面も重視し、健康診断などを実施します。

健康な老後を確保するため、壮年期からの健康教育・健康相談・健康診断を行います。なお、実施にあたっての詳細については、現在国において、審議中なので、決定次第お知らせいたします。



